

## ブース形（深形）レンジフードファン（自然給気タイプ）

形名  
V-604KQ6・V-604KQE6・V-754KQE6・V-904KQE6  
V-604KQEX6・V-604KQESW6

V-604KQEF6（高性能除じんフィルター付タイプ）

## ブース形（深形）レンジフードファン（自然給気タイプ）

形名  
V-604KQ6-BL・V-6047KQ6-BL  
優良住宅部品「BL」認定  
(BL規格自然給排気型Ⅳ型)

## 取付工事説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に、必ずこの取付工事説明書をお読みください。

取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

■本製品は住宅の台所用です。業務用途では使用できません。  
■本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限（内装材の制限、可燃物との距離の制限、ジャバラの使用など）がありますので、詳細は行政官庁または、消防署にお問い合わせください。  
■接続ダクトはφ150の鋼板管・スパイラルダクトのいずれかをご用意ください。

■別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡ししてください。

### 優良住宅部品（BL）について

●当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に職症が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証拠の貼付（又は刻印等）がされている住宅部品については、財団法人ベターリビングのBL保険制度により、保険金が支給されます。  
●BL保険制度については、財団法人ベターリビングのホームページ（<http://www.blhp.org>）をご覧ください。

# 安全のために必ず守ること

<p><b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの</p>	
<p><b>禁止</b> 内釜式風呂を設置した住宅には取付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因。</p>	<p><b>交流100Vを使用する</b> 直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因。</p>
<p><b>水ぬれ禁止</b> 直接水のかかる場所や湿気が多い場所には取付けない 感電および故障の原因。</p>	<p><b>製品金属部（金属製ダクト）がメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接続しないように取付ける</b> 接続されていると漏電した場合火災の原因。</p>
<p><b>分解禁止</b> 改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。</p>	<p><b>外気取入口は、燃焼ガスなどの排気口から離れた位置に設ける</b> 室内の酸欠の原因。</p>
<p><b>プラグを抜く</b> ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る 通電状態では感電の原因。</p>	<p><b>包装用ポリ袋などは幼児の手の届かない所に廃棄または保管する</b> 幼児が頭からかぶると、窒息の原因。</p>
<p><b>アース確認</b> アースを確実に取付ける 故障や漏電した場合感電の原因。</p>	

<p><b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに傷害または家産・家財などの損害に結びつくもの</p>	
<p><b>禁止</b> 浴室など湿気が多い場所では絶対に使わない 感電・故障の原因。</p>	<p><b>電気工事・アース工事は電気工事が行うこと</b> 電気工事士以外の人が工事すると、火災・感電・けがの原因。</p>
<p><b>指定以外</b> 指定以外のランプを使用しない ランプ周辺が高温になり、やけどの原因。</p>	<p><b>部品の取付けは確実に</b> 落下によりけがの原因。</p>
<p><b>接触禁止</b> 運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない けがの原因。</p>	<p><b>配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に</b> 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。</p>
<p><b>指示に従う</b> 本体の取付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によりけがの原因。</p>	<p><b>取付け後長期期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る</b> 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。</p>

# 取付け前のお願い

下図の寸法を守る  
(本体の下端からガスレンジまでは80cm以上必要です)

（モータ故障や排気ガスによる塗装面のサビ発生の原因となります）

●レンジフードファンはガス器具よりも幅の広い物を選択してください。

（捕集性能が得られないことがあります）

直接コンクリートなど、傷のつきやすいものうえには直接置かない

本体は水平に取付ける  
(前後・左右) (羽根当たりや異音の原因になります)

**ダクト工事**

- 給排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつける。先端に屋外フード（システム部材）などを取付けることをおすすめします。また、屋外フードはメンテナンスができる位置に取付けてください。
- 給気ダクトと排気ダクトの先端は排気が給気に混ざらないような位置に設け、また汚れた空気（燃焼ガスなど）を吸い込みない位置に取付けてください。
- 給気ダクトには、結露防止のため断熱処理を行ってください。
- 次のようなダクト工事はしない。(風量低下や異常音発生の原因になります)

- 極端な曲げ
- 多数の曲げ
- 吐出口のすぐそばでの曲げ
- しぼり

- システム部材の選定には圧損の少ないものを使用してください。(製品性能が得られないことがあります)

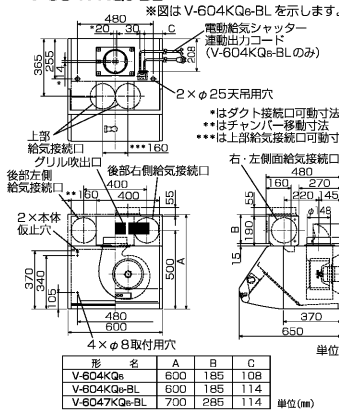
給排気ダクトの先端には条件に合ったシステム部材が用意してあります。ご利用ください。

- 鳥などの侵入防止にベントキャップ
- 雨水の浸入防止に深形フード
- 吹き上げが強いところには耐外風高性能フードを取付けてください。
- 給気ダクトに取付ける屋外フードは、防虫網付をご用意ください。

- 風の影響を受けやすいため、空調機や給気口からの風が調理の油煙に直接あたらないようにしてください。(油煙等の漏れの原因となります)

# 外形寸法図

## V-604KQ6、V-604KQE6-BL、V-6047KQ6-BL



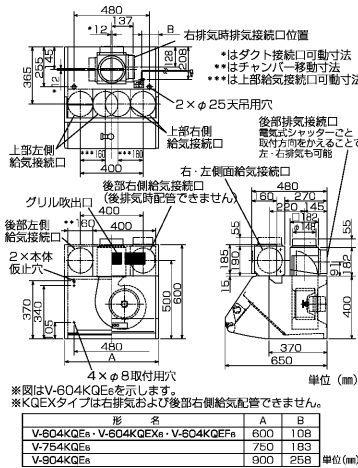
## 付属部品

●下記の付属部品があります。

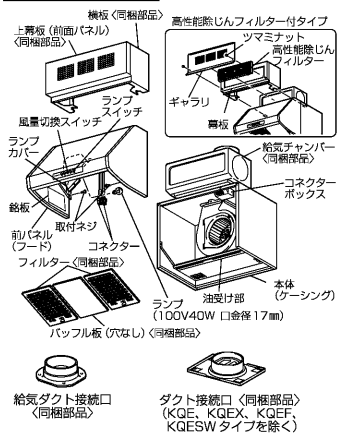
上層板取付金具…2個	チョウボルト…4本 (KQE、KQEF、KQEX、KQESWタイプは5本)
ネジ(中) (KQ6、KQEF、KQEX、KQESWタイプは5本)	ネジ(小) (KQ6、KQEF、KQEX、KQESWタイプは5本)
特殊ワッシャー…4個	ゴムワッシャー…4個
ネジ(大) (KQ6、KQEF、KQEX、KQESWタイプは5本)	ネジ(小) (KQ6、KQEF、KQEX、KQESWタイプは5本)
ワッシャー付ネジ…2本 (KQ6-BLタイプ用)	ワッシャー付ネジ…2本 (KQ6-BLタイプ用)
ワッシャー付ネジ…2本 (KQ6-BLタイプ用)	ワッシャー付ネジ…2本 (KQ6-BLタイプ用)

ワッシャー付木ネジ（ステンレス製）は表面処理が施してあります。

## V-604KQ6、V-754KQE6、V-904KQE6、V-604KQEX6、V-604KQEF6



## 各部のなまえ



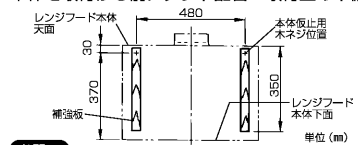
# 取付方法

本体の取付けには、天井取付けと壁取付けがあります。この製品は給・排気方向を後・上・右・左などに選択できます。詳しくは裏面を参照ください。

■配管スペースがない場合で排気方向を後・左・右に変更するときはシステム部材の排気アタッチメント(P-60MA4)をご使用ください。(KQタイプのみ)

## 1 取付け前の準備

本体を取付ける前にダクト配管・取付壁の準備をします。



●取付け部には十分強度をもたせてください。(取付け部が弱いと振動・騒音の原因になります)

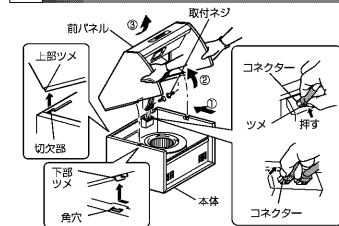
### 天井ボルト

●天井取付けの場合は外形寸法図を参照して天井吊り位置にあらかじめ市販の吊りボルト(M8)2本を埋め込む。

### ダクト配管

●壁穴をあけてその中にφ150のダクト(鋼板管・スパイラルダクト)を配管し、その周囲の仕上げを行う。

## 2 前パネルをはずす



1 本体右上にあるコネクタは片手でツメを押しながら軽く引いた後、持ちかえて左右に揺らしながらゆっくり引き抜いてください。

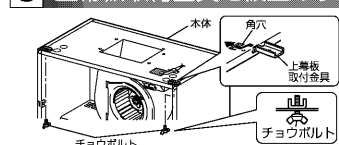
2 コネクタのチューブはコネクタからはずさないでください。  
3 かたくて抜けない場合は、もう一度コネクタのツメを押し所から繰り返してください。  
4 本体側面にテープが貼ってある場合は、テープをはがしてください。

2 本体内の両側にある取付ネジをはずす。

3 前パネルを本体から取りはずす。

(1) 少し上に持ち上げて(1)手前引く(2)、下部ツメを両側からはずす。  
(2) 手前下方に引いて(3)、上部ツメを本体切欠部からはずす。

## 3 上層板取付金具を仮止めする



●上層板取付金具の引掛部を本体角穴に差し込み、本体内部からチョウボルトで仮止めする。(左右の2か所)

## 4 給排気方向の選択

排気ダクトの排気方向によって、給気ダクトの吸込み方向が制限される場合がありますので、注意してください。



●上層板の場合はダクト配管に給気ダクト接続口を取付けるので給気チャンバーには取付けしないでください。  
●上部給気から後へダクトを配管する場合は、立ち上げ垂直距離を確保してダクト配管してください。



## ブース形（深形）レンジフードファン（自然給気タイプ）

形名  
V-604KQESW<sub>6</sub>

## 取付工事説明書

販売店・工事店さま用

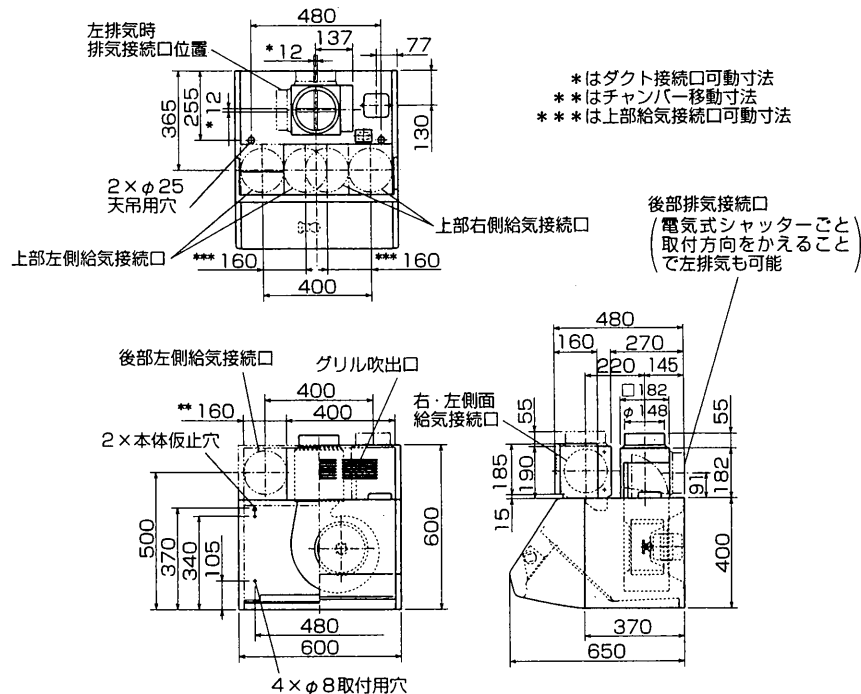
この製品は同梱の取付工事説明書と下記の項目が異なります。

下記以外の項目については同梱の説明書をご覧ください。

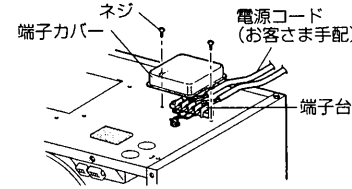
この製品には別売の〔壁埋込スイッチ（形名：P-04SW, P-60SW）〕または市販の埋込スイッチが必要です。

## 外形寸法図

### ■ V-604KQESW<sub>6</sub>



## 電気工事



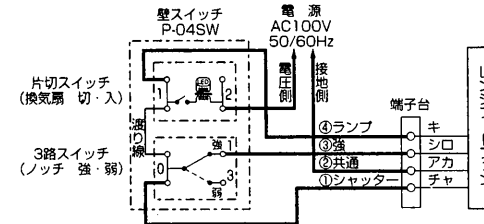
- 結線図に従って壁スイッチに結線する。  
①端子カバーのネジ2本をはずして端子カバーを開け、端子台に電源コード（お客さま手配）をネジ止める。  
②端子台カバーを元通り取付ける。
- アース端子を使用して必ずD種接地工事を実施する。

### 結線図

- 太線部分を結線してください。
- 市販の埋込スイッチを使用する場合も下記を参照して結線してください。

#### ■壁埋込スイッチ P-04SW を使用する場合（ランプ入/切スイッチなし）

使用する場合（ランプ入/切スイッチなし）

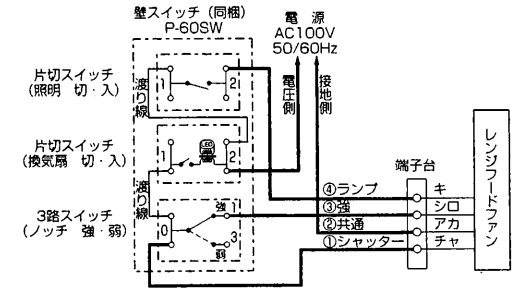


### お願い

- 2006年度4月版三菱換気送風機総合カタログ (P.275) に記載の、スイッチとの結線に対し変更されております。必ず本説明書の指示に従って結線してください。

#### ■壁埋込スイッチ P-60SW を使用する場合（ランプ入/切スイッチ付）

使用する場合（ランプ入/切スイッチ付）



### 3 下記の手順で壁スイッチと端子台の配線を確認する。

- 前パネルと本体の配線をつなぐコネクターをはずした状態で確認してください。
- 不具合があった場合は必ず直してください。(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません。)

#### (1) 電源がきているときの正規電圧 (端子台にて電圧を確認してください)

■壁スイッチ P-04SW (ランプ入/切スイッチなし) を使用する場合

端子台の電極	壁スイッチの状態	
	入-切スイッチ	
	OFF	ON
シャッター①-共通②	強	弱
共通②-強③	100V	100V
共通②-弱④	100V	-
共通②-ランプ④	100V	100V

(電源電圧 100V は多少変動する場合があります)

■壁スイッチ P-60SW (ランプ入/切スイッチ付) を使用する場合

端子台の電極	壁スイッチの状態	
	入-切スイッチ	
	OFF	ON
シャッター①-共通②	強	弱
共通②-強③	100V	100V
共通②-弱④	100V	-

端子台の電極	壁スイッチの状態	
	ランプスイッチ	
	OFF	ON
共通②-ランプ④	-	100V

#### (2) 電源がきていないときの導通の有無 (端子台にて導通を確認してください)

■壁スイッチ P-04SW (ランプ入/切スイッチなし) を使用する場合

端子台の電極	壁スイッチの状態	
	強-弱スイッチ	
シャッター①-共通②	導通ナシ	導通ナシ
共通②-強③	導通ナシ	導通ナシ
シャッター①-強③	導通アリ	導通ナシ
シャッター①-弱④	導通アリ	導通アリ
弱④-ランプ④	導通アリ	導通ナシ

■壁スイッチ P-60SW (ランプ入/切スイッチ付) を使用する場合

端子台の電極	壁スイッチの状態	
	強-弱スイッチ	
シャッター①-共通②	導通ナシ	導通ナシ
共通②-強③	導通ナシ	導通ナシ
シャッター①-強③	導通アリ	導通ナシ

端子台の電極	壁スイッチの状態			
	入-切スイッチ			
	OFF		ON	
シャッター①-ランプ④	OFF	OFF	強-弱スイッチ	強
	OFF	OFF	強	弱
強③-ランプ④	OFF	OFF	導通アリ	導通アリ
	OFF	OFF	導通ナシ	導通ナシ